

令和4年度



学校教育目標

学校だより

3/24発行

九度山中学校

学校 HP



持続可能な未来社会の創り手となるよう、自ら考え行動し、他者とも協働しながら、豊かな人生を切り拓く生徒の育成

3月に入ってから暖かい日が続くようになり、桜の開花も例年よりもかなり早くなっているようです。3年間続いたコロナ騒動もようやく収束されそうな雰囲気となっています。久しぶりにみんなで春爛漫が楽しめそうで、少しワクワクしながら春本番を迎えようとしています。本年度202日間の授業を終え、本日無事に令和4年度の修了式を迎えることが出来ました。保護者や地域の皆様、関係者の皆様のご支援・ご協力のお陰であると思っています。心よりお礼申し上げます。

さて、3月7日に挙行された第76回卒業証書授与式では、卒業生27名の新たな旅立ちを祝福することができました。多くの方が座右の銘にしているとされる高杉晋作の残した有名な歌を借りて、次のような話をさせていただきました。

～前略～



「面白きこともなき世に面白く」

幕末の志士、高杉晋作の歌・言葉です。「おもしろきこともなき世」とは、言葉のとおり、がんじがらめにされ何もかも思ったようにできず、身動きのとれない状態をいいます。ちょうどコロナウイルスで身動きが取れなくストレスがたまったような状況ですね。「そんな世に 面白く」この言葉だけで考えると、そんな面白くない世の中であっても自分だけは面白く生きてやろうというとらえ方ができ、どんな時でも何でも前向きに生きていこう。ととらえ、そういう解釈で座右の銘にしている人もいるらしいです。しかし、実際は高杉のこのことばのあと、野村望東尼という人があとの言葉を付け加え、「面白きこともなき世に面白く すみなすものは 心なりけり」となりこの句は完成します。前向きに生きようとするには変わりはないのですが、この言葉が付け加わることにより、目の前で起こる出来事は、自分の気持ちの持ち方次第で大概のことは良い方向に向かい解決できるものであるという意味になります。これは、パナソニックの創業者松下幸之助が詠んだ「鳴かずば それもまたよし ホトトギス」という発想にもつながります。鳴かないホトトギスでさえもよしとして、その価値を面白がれる柔軟さは、人生を楽しく生きる上で不可欠の資質ではあると思われる。不遇な状況、ままたらぬ現実を自らが望む方向に変えるため必要なことは、不平や不満を言って暴走するのではなく、そんなときこそ

自分の心を前向きにし、些細なことにでも面白く工夫して楽しくやっけていこうとするとならわれない心やのびやかな精神により人は「成長」し、道は開け世界を変えていくのだということです。

「面白きこともなき世に面白く」私はこの言葉を校長室に飾り、常に自分の指針としています。

～後略～

たくましい社会人としてご活躍されますことを職員一同心よりお祈りいたします。(校長：前田)



表彰伊都高野山ライオンズクラブ模範生徒表彰 3年 土岐誠太郎 新田千晴
九度山町善行生徒表彰 3年 井上里瑠

■自己評価と学校関係者評価 2月28日の学校評議委員会で、本年度の自己評価について説明し、学校評議員の皆様の評価をいただきました。学校関係者評価書の一部を掲載します。なお、自己評価書及び学校関係者評価書の全文はHPで公開しています。委員の皆様ありがとうございました。

教育目標、教育課程、教科指導に対する意見

▲今年度もコロナ禍で、保護者や地域と直接的な関わりを持ちにくい状況が続きました。その中でもできる限りの手段で伝えて下さったと思います。アンケートからは、概ね肯定的な意見をいただいているように思います。▲コロナ禍で活動制限がまだある中、教育目標達成に向けて教科授業の時間を十分確保し取り組んできたことが生徒アンケートの2番「学校の授業が良く分かる」の増加につながり、関連して3番の「休憩時間や放課後に質問する回数」の減少に現れていると捉えることができると思うので来年度も続けていってほしいと思います。▲コロナ禍ではあるが、少しずつ活動の幅が広がっているように感じます。今後はさらに地域活動やボランティア活動にふれる機会をつくっていただき、精神的な成長も育てていただけたらと思います。▲コロナ禍で、活動や行動に制限のある中で、それぞれの学年で体験学習が出来たことは良かったと思います。

この一年間皆様方の温かいご理解とご支援のもと、本校の教育を推進していくことができました。厚くお礼申しあげます。これから学校は、次年度に向けた準備を始めます。教職員一同、気持ちも新たに、引き続き九度山中学校の教育の充実発展に努めて参りたいと思います。今後とも、皆様方のご支援ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひ申しあげます。一年間、本当にありがとうございました。